

STAGE+を楽しむ(270)(HP 収載)
—ヴィヴァルディのマンダリン協奏曲—

1. 始めに

前報(269)に引き続き、STAGE+のヴィヴァルディのマンダリン協奏曲の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のヴィヴァルディのマンダリン協奏曲の演奏を選びました。

ヴィヴァルディ in ヴェルサイユ〜アヴィ・アヴィタル&ヴェニス・バロック・オーケストラ

マンダリン協奏曲

収録日: 2015 年 11 月 27 日

グラミー賞にノミネートされたマンダリン・ヴィルトゥオーソ、アヴィ・アヴィタルと、当代屈指の古楽アンサンブルであるヴェニス・バロック・オーケストラの共演コンサートがフランスのヴェルサイユ宮殿で実現。イタリアからルイ 14 世へ贈られた至宝に囲まれたこの場所で演奏される、バロックの本場ヴェネツィア生まれの“赤毛の司祭”ことヴィヴァルディの協奏曲が、聴く者を 18 世紀へと誘います。アヴィタルのスリリングなテクニックと魅惑的な音色、繊細さがマンダリンを再び音楽史に燦然と輝く存在にまで高めます。

ソリスト:

アヴィ・アヴィタル (マンダリン)

演奏:

ヴェニス・バロック・オーケストラ

曲目:

アントニオ・ヴィヴァルディ 協奏曲イ短調 RV356

アントニオ・ヴィヴァルディ 協奏曲ニ長調 RV93

アントニオ・ヴィヴァルディ 協奏曲変ホ長調

アントニオ・ヴィヴァルディ 協奏曲ハ長調 RV425

アントニオ・ヴィヴァルディ 協奏曲ト短調 TRV315<夏>

アントニオ・ヴィヴァルディ 協奏曲ハ長調 RV443



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への **Crystal EpY-G** の接続を継続し、PC の仮想アース **Crystal E Jtune** に **Crystal E** を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に **OPT ISO BOX** を適用し、**OPT ISO BOX** の AC アダプターの DC ケーブルに **FX Audio** の **Petit Susie Solid State** を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

さらに、今回からスイッチングハブ→PC 間 LAN 接続には **OPT ISO BOX** に代って適用した **LAN iPurifier Pro** の電源を **iPowe2** に交換しています。

今回も、**OPT ISO BOX** の導入(21)で設定したように PC の受信から GPS クロックを入力した **SWD-DA20** に送り出して再生しています。

演奏される曲は、編曲ものも含めてすべてマンドリン協奏曲のかたちをとっており、豪華な内装のヴェルサイユ宮殿での演奏です。

協奏曲イ短調 **RV356** は、ヴァイオリン協奏曲からの編曲で、マンドリンで弾くところなるかという印象です。

協奏曲ニ長調 **RV93** と協奏曲変ホ長調は、初めて聴きますが、軽快で浮き浮きするような曲です。

協奏曲ハ長調 **RV425** は、マンドリン協奏曲として聴いたような覚えがある曲で、これも軽快な曲です。

協奏曲ト短調 **TRV315<夏>** は、お馴染みの「四季」からの編曲版で、速いパッセージも難なく弾き切っています。

協奏曲ハ長調 **RV443** は、アンコール曲のようでしみじみとした表情の曲です。

アヴィタルのマンドリンは速いパッセージの演奏もしっとりとした演奏も、マンドリンでヴィヴァルディを表現するところなるという見本のような演奏です。

ヴェニス・バロック・オーケストラは、ノンヴィブラートの弦、リュート、通奏低音のパートなど、イタリアバロック演奏のかたちを表現しています。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、さらに GPS クロックを入力した SWD-DA20 に送り出して再生した結果、マンドリンとバロックアンサンブルのヴィヴァルディの世界が表現されていました。

以上